

- 問1 夏の東北地方において、オホーツク海高気圧が発達した際に、冷たい親潮（千島海流）が流れる海域から太平洋沿岸部に向かって吹き込む、冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
1. フェーン 2. からっ風 3. 季節風 4. やませ
- 問2 秋田県大潟村の農業統計を全国平均と比較すると、農家一戸あたりの耕地面積が数十倍に達しており、それに伴い一戸あたりの農業産出額も非常に高い数値を示しています。このように、大潟村で大規模な機械化農業が可能となった背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 都市近郊に位置することを活かし、ビニールハウスを用いた野菜の生産に特化したため。 2. 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。 3. 伝統的な零細経営を維持しながら、複数の農家が共同で一つの土地を耕作したため。 4. 山間部の傾斜地を整備し、果樹栽培を中心に少人数で効率的な作業を行ったため。
- 問3 東北地方の太平洋側に位置する都市の気候において、夏（7月頃）の平均気温が23℃から25℃程度にとどまり、極端な高温になりにくい理由として、地理的条件から説明したものを選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 内陸盆地に位置しているため、放射冷却現象が夏の間に継続的に発生し、気温の上昇を抑えるため。 2. オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った北東の風（やませ）の影響を受けることがあるため。 3. 暖流である対馬海流が三陸沖を流れており、その冷気によって夏でも気温が上がりにくい。 4. 北極海からの寒冷な季節風が、日本海を越えて直接太平洋側に吹き込んでくるため。
- 問4 1993年や2003年の統計において、岩手県の米の作況指数（平年を100とした収穫量の割合）が30や73といった非常に低い値を示し、全国平均や西日本の山口県を大きく下回る深刻な不作となった主な要因は何ですか。（2025年 山口県公立入試 類似）
1. 冬の季節風による大雪害 2. フェーン現象による高温障害 3. やませによる冷害 4. 台風の直撃による風水害
- 問5 青森県と秋田県の県境にまたがる地域に位置し、世界でも最大級の規模でブナの原生林が残されていることから、1993年に日本で初めて世界自然遺産に登録された山地の名称を答えなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）
1. 吉野 2. 白神山地 3. 日本アルプス 4. 屋久島
- 問6 東北地方の各県を比較した統計において、人口増減率がマイナス0.6%以上という、地域内で最も減少が緩やかな区分に属し、かつ製造品出荷額が東北地方全体の合計値（約17兆5260億円）の約25%にあたる約4兆3805億円を占めている県はどこですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 宮城県 2. 岩手県 3. 青森県 4. 福島県
- 問7 本州最北端に位置する青森県の産業的特徴について、統計から読み取れる傾向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、この県の統計では製造品出荷額等が約11兆円、米の産出額が666億円、延べ宿泊者数が約2万4千という数値が示されています。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 観光業が産業の柱となっており、延べ宿泊者数に関連するサービス業の収益が工業生産を凌駕している。 2. 伝統的な農業県としての特色を維持しており、米の産出額が製造品出荷額等を大きく上回っている。 3. 米の産出額などの農業生産に比べ、製造品出荷額等に代表される工業生産の規模が極めて大きい。 4. 第一次産業から第三次産業までが均衡しており、製造品出荷額等と米の産出額の差がほとんど見られない。
- 問8 秋田県にある八郎潟という湖を干拓して誕生した大潟村では、日本の平均的な農家と比べて一戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型の農業機械を効率的に活用した生産が行われています。このような大潟村で行われている農業の形態を何と呼びますか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 自給的農業 2. 大規模農業 3. 小規模経営 4. 施設園芸農業
- 問9 東北地方の地図において、奥羽山脈の西側（日本海側）から青森県にかけての広い範囲が共通の気候区分として示されることがあります。この地域の冬の気候メカニズムと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため、雪はほとんど降らず、1月の降水量は100mm未満と非常に少なくなる。 2. 太平洋側から吹き込む暖かくて湿った空気の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、1月の平均気温が氷点下になることはほとんどない。 3. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響が冬まで残るため、1年を通じて降水量が多く、1月の平均気温は氷点下にはならないが日照時間が極端に短い。 4. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかすることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。
- 問10 東北地方の産業について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方の山間部や積雪の多い地域では、冬の（X）を利用した（Y）として、漆器や鉄器などの製作が古くから行われてきた。これらは現在、伝統的工芸品として指定されているものも多い。」（2017年 岡山県公立入試 類似）
1. X：農閑期 Y：副業 2. X：農繁期 Y：工業 3. X：農繁期 Y：副業 4. X：農閑期 Y：商業
- 問11 日本の伝統的工芸品の継承に関する記述として、現代の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 職人の技術を活かしながら、現代のライフスタイルに合う実用的な製品を開発し、国内外の需要に応えようとしている。 2. 伝統を守るために、現代の生活用品との融合は避け、古くから伝わる儀式や祭礼のための道具のみを製造している。 3. 後継者不足を解消するために、伝統的工芸品の定義から「手作業」という条件を外し、完全に機械化された製品を推奨している。 4. 安価な輸入製品に対抗するため、伝統的な技法を捨てて、全ての工程を海外の工場での自動生産に委託している。
- 問12 日本の太平洋側にある三陸海岸の沖合では、北からの寒流と南からの暖流が出会う海域が存在します。この海域で交差する寒流と暖流の組み合わせとして適切なものを、次のうちから選びなさい。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 寒流：親潮 暖流：黒潮 2. 寒流：黒潮 暖流：親潮 3. 寒流：リマン海流 暖流：対馬海流 4. 寒流：対馬海流 暖流：リマン海流
- 問13 岩手県の地形や主要都市の立地について、東北地方の地図上の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 静岡県公立入試 類似）
1. 県の中央を奥羽山脈が縦断しており、県東部の海岸線は奥羽山脈が海に直接面することで、全域が険しい断崖絶壁の続く地形となっている。 2. 県庁所在地の盛岡市は三陸海岸沿いの港町として発展しており、その周辺には複雑に入り組んだ海岸線を利用した大規模な工業港が集中している。 3. 県庁所在地の仙台市を中心として、県東部の太平洋沿岸には広大な平野が続いており、単調な海岸線を利用した砂浜海岸が形成されている。 4. 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 やませ	オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な空気が、寒流である親潮の影響でさらに冷やされ、東北地方の太平洋側に流れ込む現象です。この風は濃い霧を伴うことが多く、夏の気温が上がらない原因となります。冬に乾燥した風が吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温乾燥する「フェーン現象」とは性質が異なります。
問2	答え 2 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。	大潟村は干拓地であり、もともと水底だった場所を陸地にしたため、非常に平坦で広大な農地が確保できました。この土地条件を最大限に活用するため、最初から大型機械の導入を前提とした計画的な入植が行われました。その結果、全国の多くの地域で見られる小規模な兼業農家とは対照的な、高収益で効率的な大規模経営が実現しています。
問3	答え 2 オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った北東の風（やませ）の影響を受けることがあるため。	東北地方の太平洋側では、初夏から夏にかけて「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東風が吹き込むことがあります。これにより、仙台などの沿岸部では曇りや霧の日が増え、気温が上がりにくくなる冷害が発生することもあります。これが、西日本などの太平洋側と比較して、夏の平均気温が23℃～25℃程度と比較的低めに推移する要因の一つとなっています。
問4	答え 3 やませによる冷害	1993年や2003年は、夏に北東風の「やませ」が強く吹き続けたため、東北地方の太平洋側を中心に記録的な日照不足と低温に見舞われました。これにより、岩手県などの地域では米がほとんど収穫できないほどの深刻な冷害（不作）となりました。一方、西日本に位置する山口県などはこの風の影響を直接受けないため、東北地方と比較して作況指数の低下は限定的でした。
問5	答え 2 白神山地	青森県から秋田県にかけて広がるこの地域は、人の手がほとんど加わっていない貴重なブナの原生林が残っていることが高く評価されました。屋久島（鹿児島県）とともに、日本で最初に登録された世界自然遺産の一つです。
問6	答え 1 宮城県	宮城県は、東北地方の中で人口減少率が最も低く、県庁所在地の仙台市を中心に人口が集中する傾向があります。また、工業面でも東北全体の製造品出荷額の約4分の1を占めるなど、同地方における経済や産業の中心的な役割を担っています。
問7	答え 3 米の産出額などの農業生産に比べ、製造品出荷額等に代表される工業生産の規模が極めて大きい。	示された統計数値を比較すると、農業の主要指標である米の産出額（666億円）に対して、工業の指標である製造品出荷額等（約11兆円）が圧倒的に大きな割合を占めていることがわかります。このことから、この県においては工業生産が経済的に非常に大きな規模を持っているという背景を読み取ることができます。
問8	答え 2 大規模農業	大潟村は、かつて日本で2番目に広がった湖である八郎潟を干拓して造られた土地です。計画的に農地が割り当てられたため、農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて圧倒的に広く、大型トラクターやコンバインなどを導入した「大規模農業」が発達しました。これにより、一戸あたりの農業産出額も全国平均を大きく上回る特徴があります。
問9	答え 4 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。	東北地方の日本海側や青森県では、冬にシベリア大陸から吹き出す湿った冬の季節風が奥羽山脈に遮られることで、世界でも有数の豪雪地帯となります。また、緯度が高いことや山地の影響により、1月の平均気温が0度を下回る氷点下（0度未満）の厳しい寒さになることが特徴です。一方、1月の降水量が少なくなるのは山脈の風下にあたる太平洋側の特徴であり、8月の平均気温が低くなるのは「やませ」の影響を受ける太平洋側の特徴です。
問10	答え 1 X：農閑期 Y：副業	冬の積雪により農業を休まなければならない時期を「農閑期」と言います。この期間に現金収入を得るために行われた仕事が「副業」です。東北地方の伝統的工芸品の多くは、厳しい自然環境の中で、生活を支えるための知恵として育まれてきました。対義語である「農繁期」は、田植えや稲刈りなどの農作業が忙しい時期を指します。
問11	答え 1 職人の技術を活かしながら、現代のライフスタイルに合う実用的な製品を開発し、国内外の需要に応えようとしている。	多くの伝統的工芸品の産地では、後継者不足や市場の縮小が大きな課題となっています。この解決策として、南部鉄器のIH対応化や津軽塗のデジタル機器への応用のように、伝統技術を現代のデザインや用途に融合させることで、日本国内だけでなく海外市場へも魅力を伝える取り組みが進められています。
問12	答え 1 寒流：親潮 暖流：黒潮	三陸海岸の沖合では、北から南下してくる寒流の親潮（千島海流）と、南から北上してくる暖流の黒潮（日本海流）が出会います。なお、リマン海流や対馬海流は日本海側を流れる海流です。
問13	答え 4 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。	岩手県の内陸部には北上川が流れる盆地があり、そこに県庁所在地の盛岡市が位置しています。一方、東側の太平洋沿岸は三陸海岸と呼ばれ、特にその南部はリアス海岸という独特の形状をしています。奥羽山脈は岩手県と秋田県の県境付近を走る山脈であり、海岸線まで迫っているのは北上山地であるため、地形の名称を正確に理解しておく必要があります。